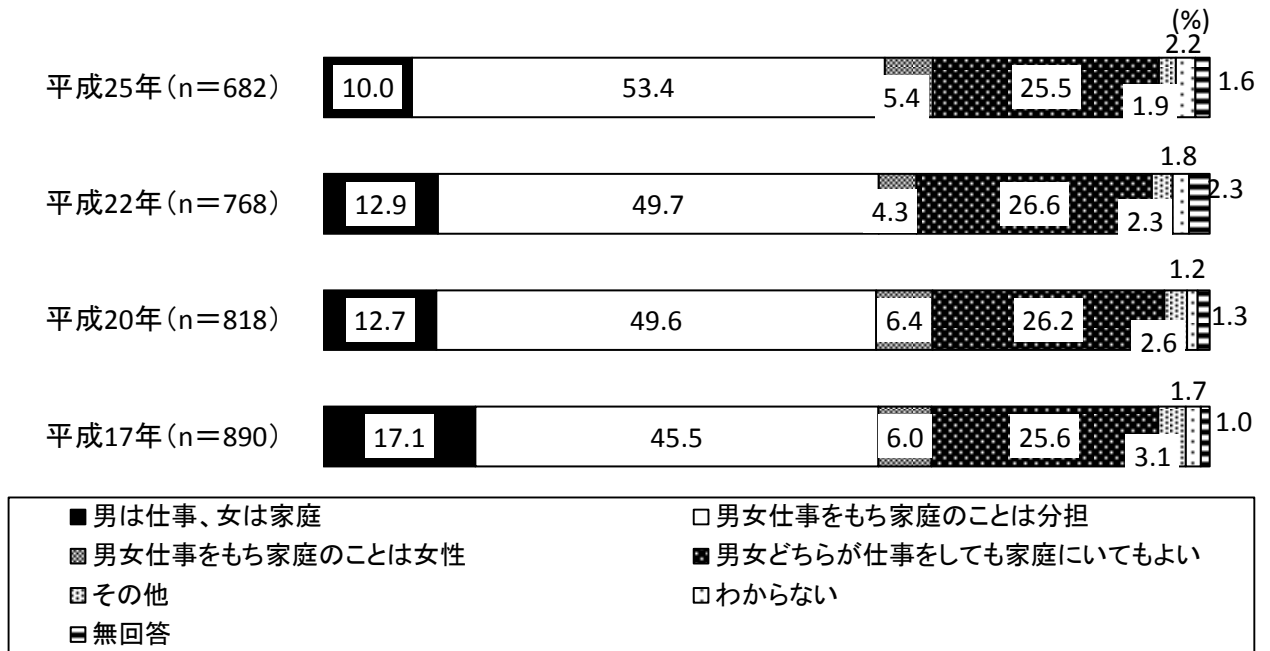


## 2. 男女の役割意識について

### (1)「男は仕事、女は家庭」という考え方

#### 【全体】

問3 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのように思いますか。次の中から、あなたの考えに最も近いものを1つだけお選びください。(○は1つだけ)



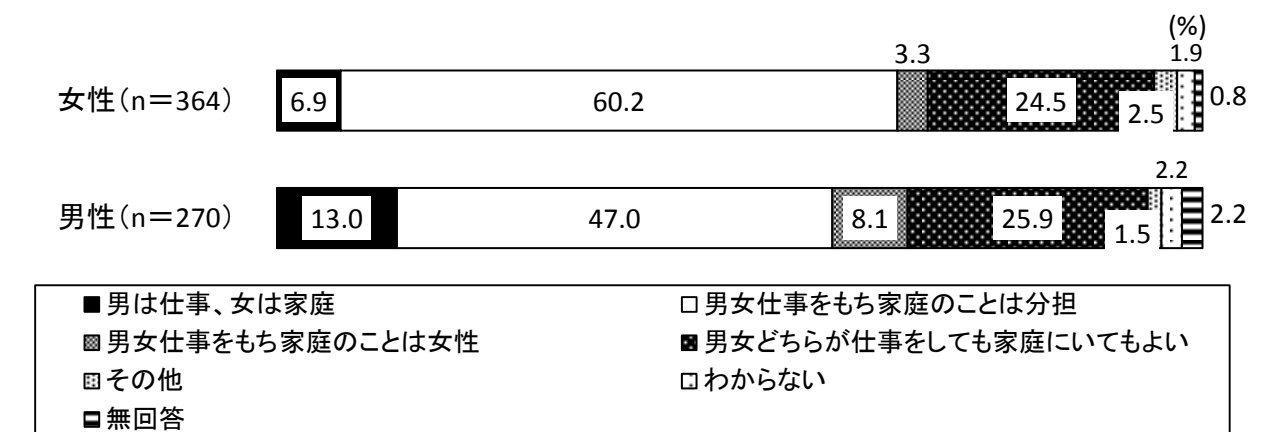
○内閣府 (H24.10)「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきに賛成」12.9%「どちらかといえば賛成」38.7%

○栃木県 (H21.11)「男は仕事、女は家庭」15.1%

○佐野市 (H24.11)「男は仕事、女は家庭」10.9%

「男は仕事、女は家庭」と考える人の割合は、平成17年調査から7.1ポイント減少している。また、「男女仕事をもち家庭のことは分担」と考える人の割合は53.4%と平成17年調査開始以降増加している。

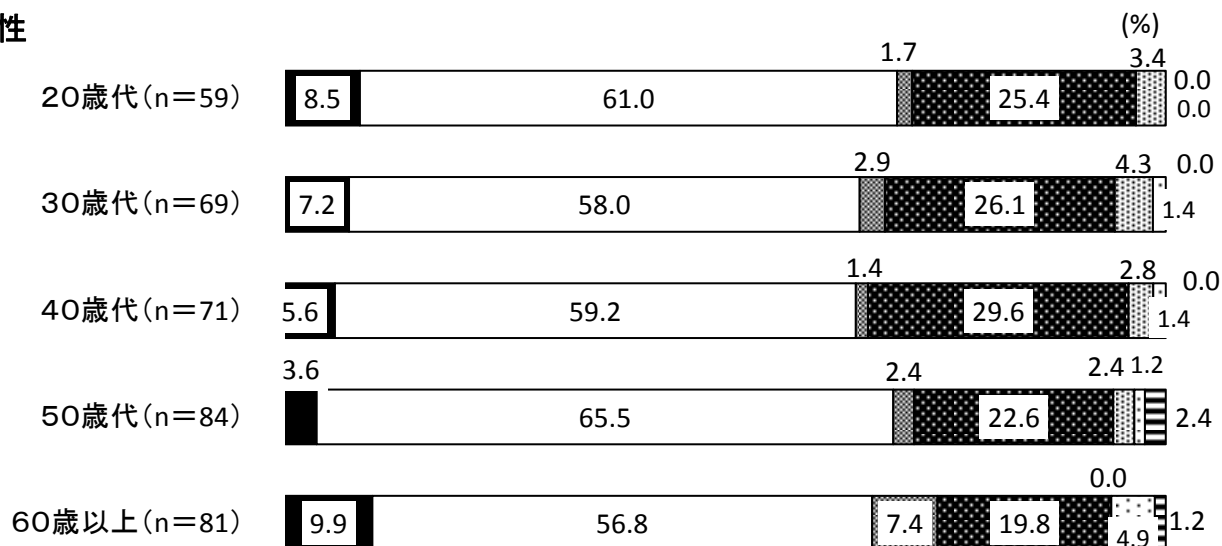
#### 【性別】



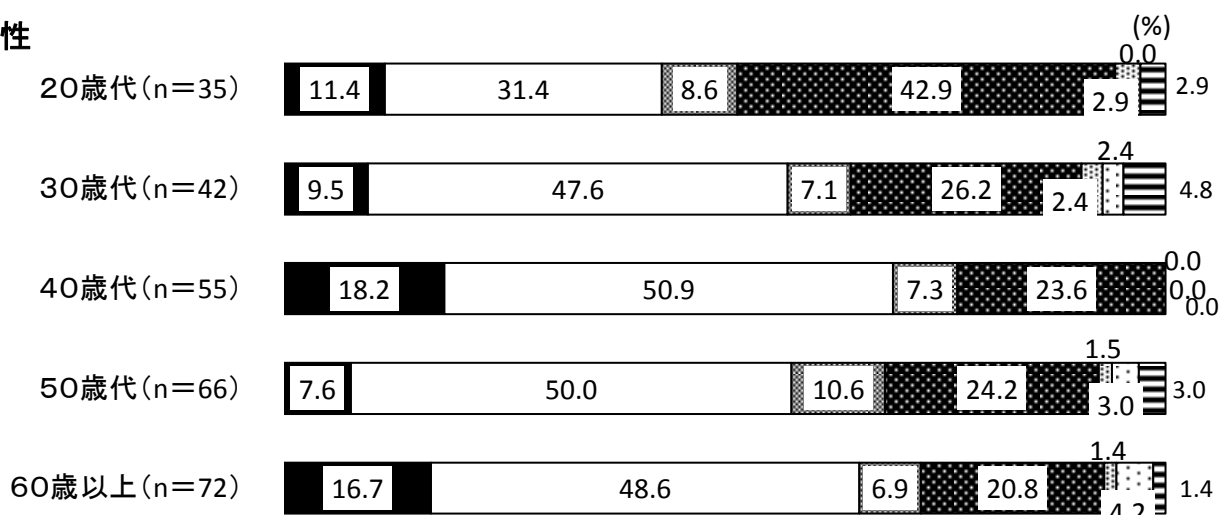
「男は仕事、女は家庭」と考える人の割合は、平成17年調査から男女とも減少している。また、「男女仕事をもち家庭のことは分担」と考える人の割合は男女とも約10ポイントずつ増加している。

【性・年齢別】

女性



男性



- |                   |                        |
|-------------------|------------------------|
| ■ 男は仕事、女は家庭       | □ 男女仕事をもち家庭のことは分担      |
| ▨ 男女仕事をもち家庭のことは女性 | ■ 男女どちらが仕事をしても家庭にいてもよい |
| ▩ その他             | □ わからない                |
| ▫ 無回答             |                        |

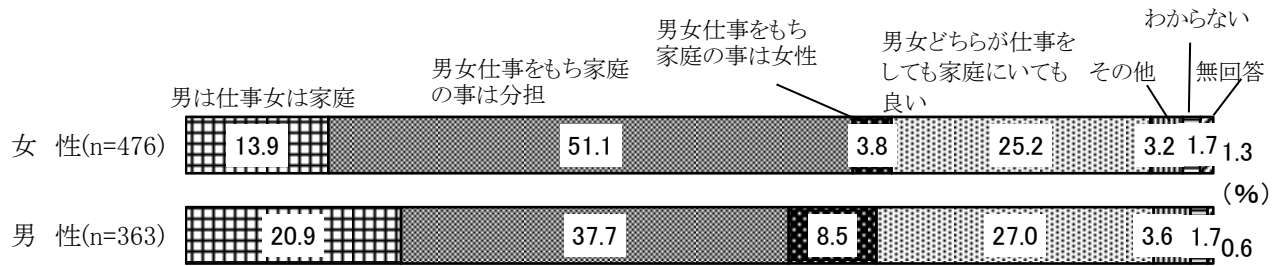
「男は仕事、女は家庭」と考える人の割合は、平成17年調査から女性は全ての年代で減少し、男性は40歳代を除く年代で減少している。一方で「男女仕事をもち家庭のことは分担」と考える人の割合は、全体的に大きく増加している。

また、20歳代の男性は、「男女どちらが仕事をしても家庭にいてもよい」と考える人の割合が4割を超えている。

# 「男は仕事、女は家庭」という考え方

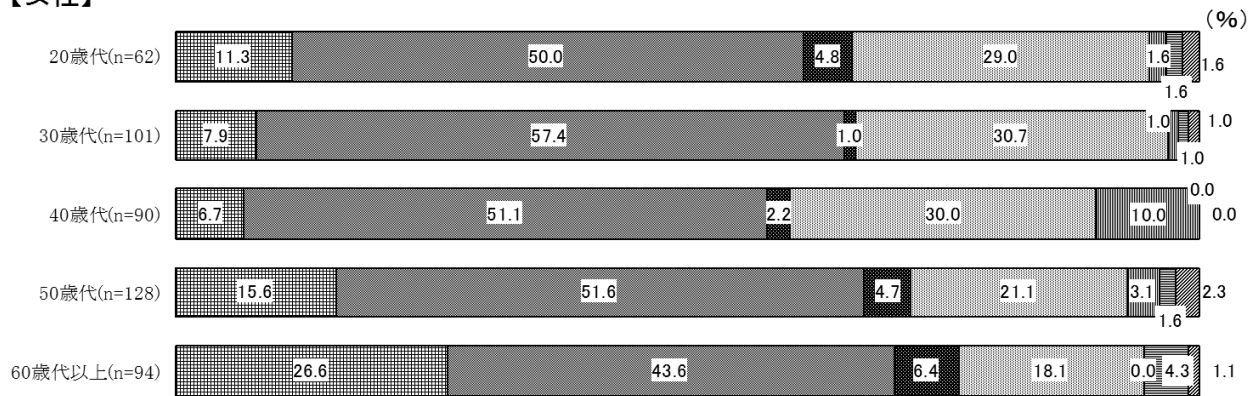
参考 平成17年10月調査結果

## 【性別】

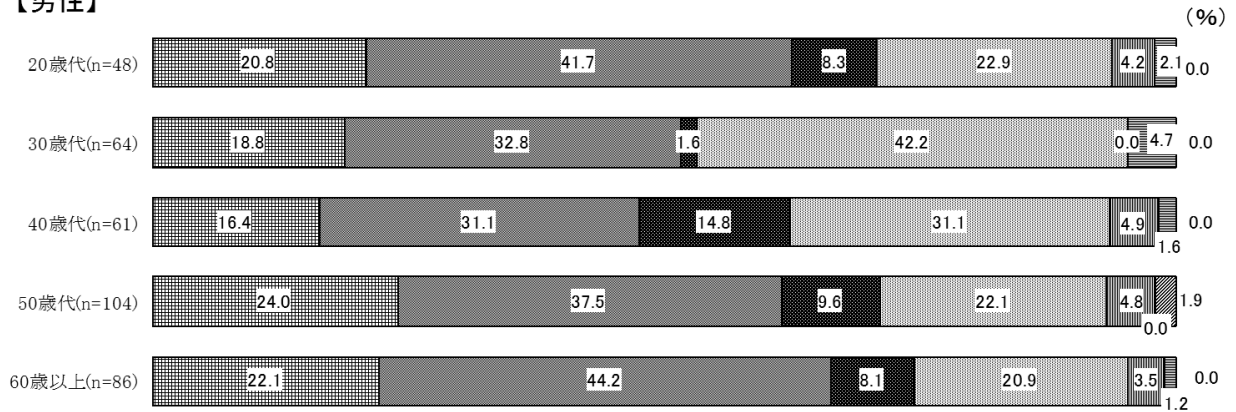


## 【性・年齢別】

### 【女性】

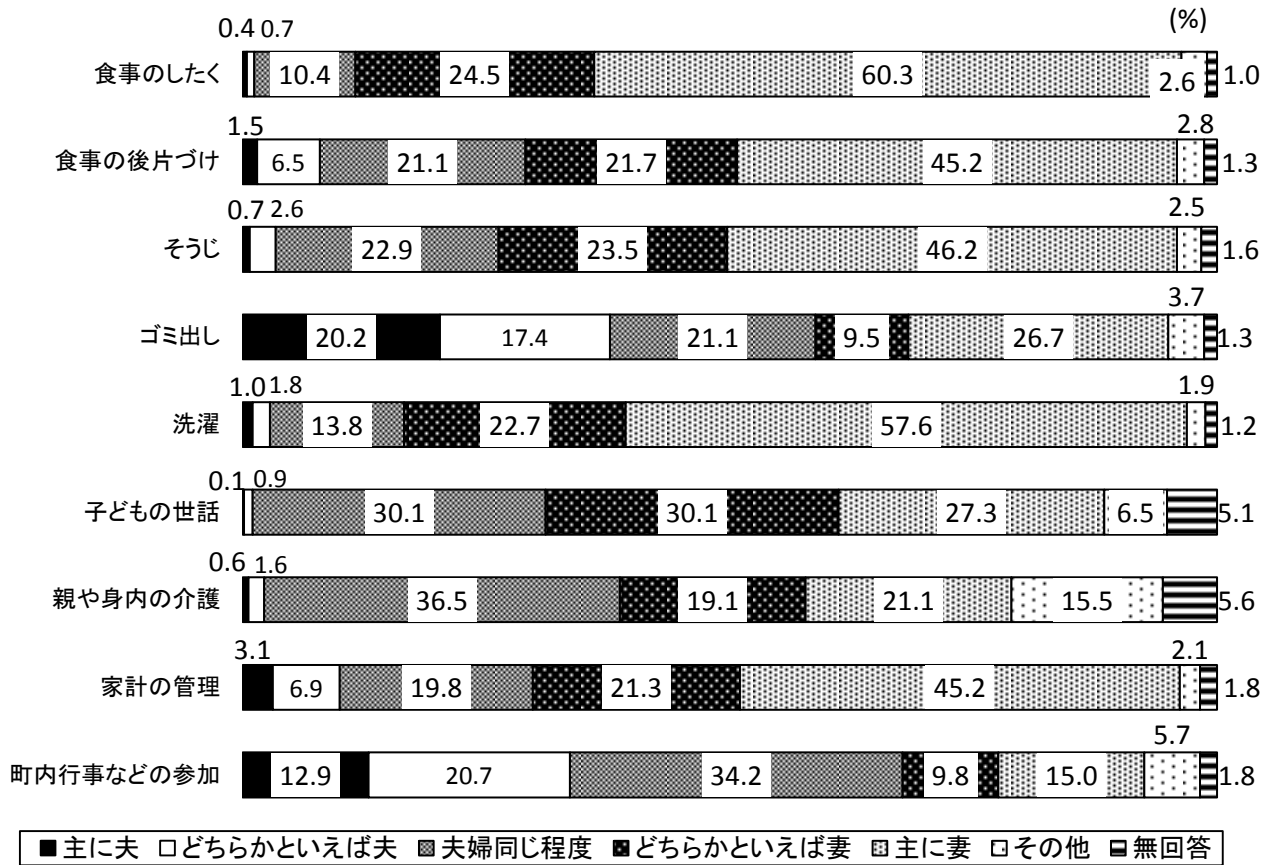


### 【男性】



## (2) 日常生活の夫婦の分担

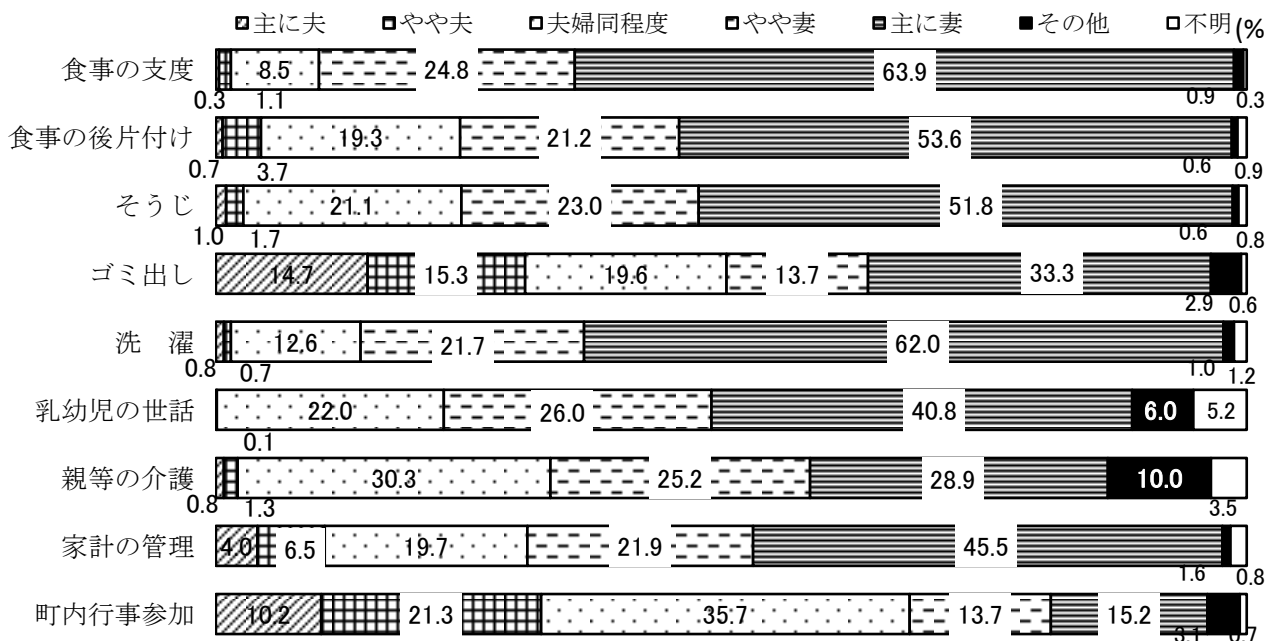
問4 日常生活における夫婦の分担はどのようにしていますか。配偶者がいない方は、いると仮定してどのようにしたいと思えますか。次の(1)～(9)それぞれについて、あてはまるものを1つずつお選びください。(〇は1つずつ)



「主に妻」、「どちらかといえば妻」という回答割合が多く目立つ。「ゴミ出し」、「町内行事などの参加」では、「主に夫」、「どちらかといえば夫」の割合が多くなっているが、家庭での男女の役割分担の多くが依然として女性に偏っている。

一方で、「子どもの世話」、「親や身内の介護」の項目で、「夫婦同じ程度」と回答する人の割合は、平成17年調査からそれぞれ8.1ポイント(子どもの世話)、6.2ポイント(身内の介護)増加している。

### 参考 平成17年10月調査結果



# 日常生活の夫婦の分担

参 考 栃木県「男女共同参画社会に関する意識調査(平成21年11月)」

